

第68回日本産科婦人科学会学術講演会会長特別企画 「Stump the Professors ～教授陣と知恵くらべ～」

日時：2016年4月22日（金）16時45分～18時15分

場所：第3、4会場（ホールB7）

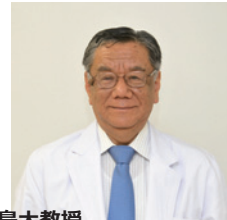
司会：黒星晴夫先生（京都府立医大）

若手医師が症例提示で教授に挑みます。果たして教授は見事診断できるか！？

日産婦学会派遣の重厚な布陣の教授陣



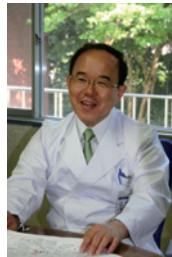
木村 正 大阪大教授
専門領域：産婦人科一般
「日産婦から派遣された私たち優秀な教授たちが楽勝で高笑いをして終わるか、ぼろ負けするか！？若者の挑戦がスリル満点で楽しみです。かかってこいや！」



堂地 勉 鹿児島大教授
「産婦人科医になりたての頃（1977年）は生殖内分泌を中心に研究していましたが、1992年の留学を転機に女性医学に研究の軸足を移しました。女性医学では生殖内分泌の知識がとて役立っています。」



加藤聖子 九州大教授
専門領域：婦人科腫瘍学
「普段、回診で若い研修医の先生に質問し、「勉強しておいてね」などと言っていますが、今回は逆の立場でドキドキです。お手柔らかにお願いします。」

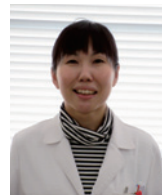


金山尚裕 浜松医大教授
「周産期が専門です。患者さんから学び、それをリサーチし、その成果を患者さんに還元することを大切にしています。見聞何でも好奇心が私のモットーです。」

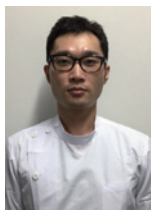
対する気鋭の若手産婦人科医軍団



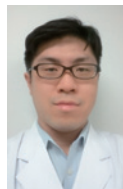
濱田裕貴 先生（東北大）
2006年 東北大卒
胎盤のエピゲノムについての基礎研究と、周産期分野を中心とした臨床診療との、二足の草鞋を履きながら日々精進しております。教授陣に一太刀浴びせたいと思います！



平川東望子 先生（大分大）
2006年 山口大卒
大学院で子宮内膜症の研究をしています。今回、会長企画に参加できてとても光栄です。皆さまに楽しんでいただき、会場が盛り上がるよう気合いをいれて準備します。どうぞよろしくお願いいたします。



寺田秀昭 先生（東京医大）
2009年 東京医大卒
周産期医療の奥深さや、未だ解明されていない病態にハマってます。知識の泉に溢れる教授陣に一泡吹かせるために日々、脳トレ・筋トレしています。会長特別企画のために選りすぐられた我ら若手軍団。かかっていきます！



西野公博 先生（名古屋大）
2006年 広島大卒
卒後7年間、臨床研修を行い、現在、大学院博士課程4年目です。ACOG meetingに参加させていただいた経験を生かして、本番では頑張りますので、よろしくお願いいたします。